

かわの情報誌



2020 秋号

No.111

～特集～

【歴史的風土・景観にふさわしい川づくり】

京都府

千年の都と京文化を育む鴨川

奈良県

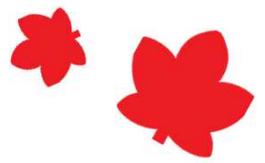
奥飛鳥の歴史的風土、景観にふさわしい水辺の創出

～「神奈備の郷・川づくり計画」の取り組み～

～トピックス～

兵庫県

武庫川の総合的な治水対策シンポジウム



河川紹介

2 洞川(奈良県) (A)

特集

【歴史的風土・景観にふさわしい川づくり】

3 千年の都と京文化を育む鴨川 (B)
京都府建設交通部河川課

5 奥飛鳥の歴史的風土、景観にふさわしい水辺の創出
～「神奈備の郷・川づくり計画」の取り組み～ (C)
奈良県県土マネジメント部河川整備課 豊住健司

トピックス

9 武庫川の総合的な治水対策シンポジウム (D)
兵庫県県土整備部武庫川総合治水室

季節の水辺風景

11 九頭竜湖の紅葉(福井県) (E)

12 瀬峡(和歌山県) (F)

水辺を楽しもう

13 山頂公園から三方五湖を展望しよう!(福井県) (G)

14 布引の滝～日本三大神滝～(神戸市) (H)

15 “水神”を感じる碧き清流
～丹生川上神社と夢淵、東の滝～(奈良県) (I)

インフォメーション

16 大阪府立狭山池博物館 令和2年度特別展 (J)
発掘された土木技術 —大和川流域の開発と水制—

17 川の駅はちけんや「雨展」(大阪府) (K)

みたらい溪谷(天川村)

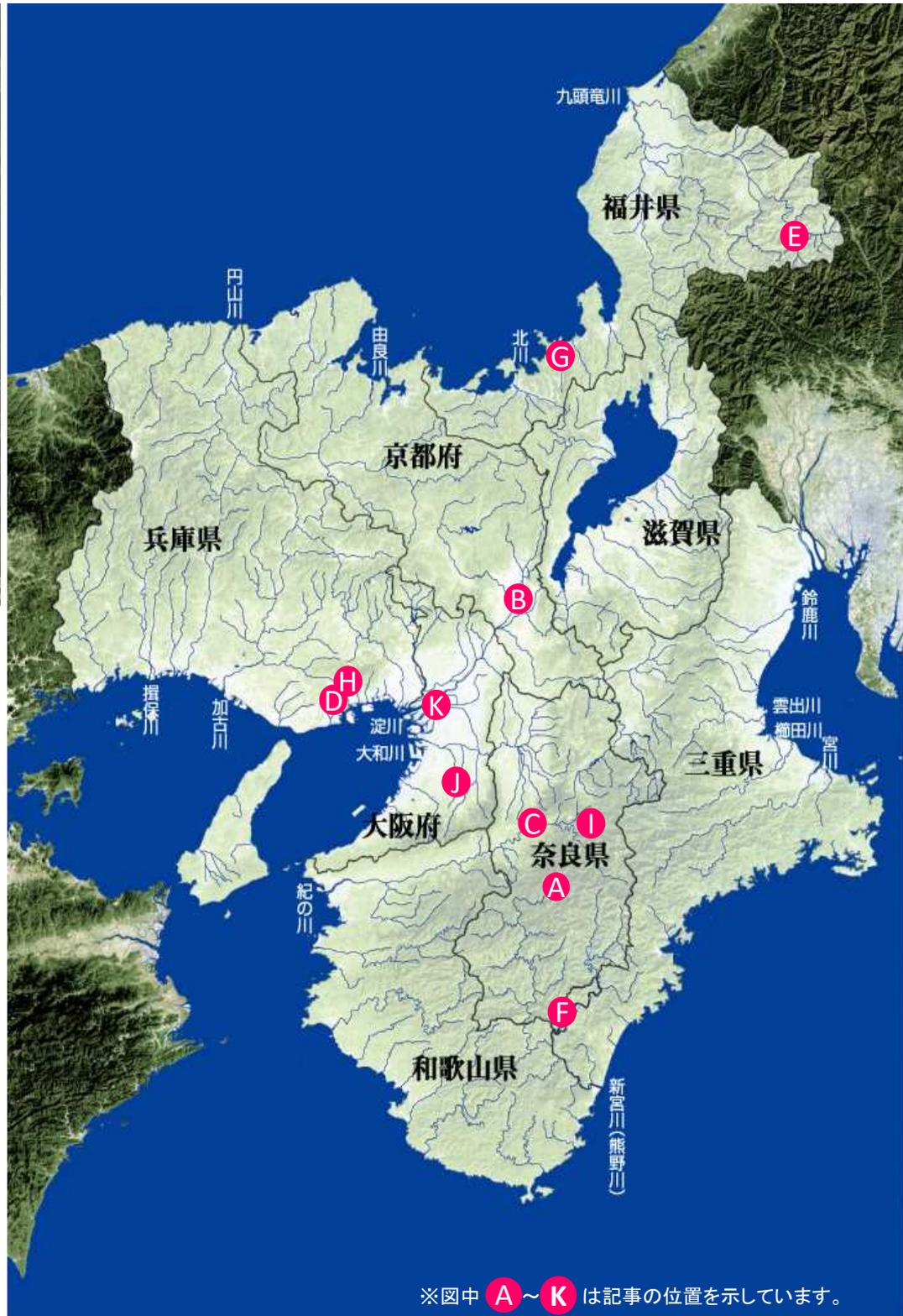


洞川(山上川)
どろがわ さんじょうがわ

洞川は、大峯山脈を源とし、天川村の北部を流れながら縦断し、吉野山地を南流する熊野川(天ノ川)へと合流する流路延長約7.2kmの一級河川です。

洞川が熊野川へ合流する部分のすぐ上流域に「みたらい溪谷」があります。自然の奥深い山の中、みたらい溪谷の紅葉は、神秘的で息をのむ美しさです。

また、洞川沿いには、洞川温泉や「名水百選」にも選ばれた洞川湧水群があり、自然の恵みを堪能できます。



※図中 A~K は記事の位置を示しています。



くろくろ水

洞川湧水群の1つであるくろくろ水。奈良県の天然記念物に指定されている五代松鍾乳洞のすぐ近くにあり、豊富で清冽な湧水が大岩から流出しています。



▲洞川温泉街

千年の都と京文化を育む鴨川

京都府建設交通部河川課

1. はじめに

鴨川は、京都府の中央、丹波高地の棧敷ヶ岳（さじきがだけ）を源流とし、京都市を北から南に流下し桂川へ注ぐ、幹線延長約23km、流域面積約210km²の一級河川です。悠久の歴史の中で千年の都と京文化を育んできた川であり、今も大都市にあって清澄さを保ち、憩いの場として多くの人に親しまれています。

今回は鴨川の川づくりの歴史と景観に配慮した河川整備をご紹介します。



写真-1 昭和10年災害状況

2. 鴨川の変遷

鴨川は、京都市北東部の左京区出町付近で、鴨川とほぼ同じ流域面積をもつ高野川を合流した後、直線的に南下しており、明瞭なY字系をなしています。そのため、平安京遷都の際に人工的に都の東側に付け替えられたとされる説もありましたが、その後の地質学的な調査の結果、現在では、当時から既にほぼ今の位置を流れていたとするのが一般的となっています。

鴨川治水の歴史は古く、平安時代には既に「防鴨河使(ぼうがし)」という官職が置かれ堤防の建設や修繕にあたっており、その後、豊臣秀吉による京都改造の一つとして造った「御土居(おどい)」も鴨川の堤防として機能していたと考えられています。江戸時代には土地利用が活発化した市街地において「寛文新堤」が造られるなど、幾度も氾濫を繰り返した暴れ川であったことがうかがえます。



提供:安藤広重美術館

写真-2 江戸時代の納涼床の様子

鴨川での近代治水は、鴨川沿川で死者12名、浸水家屋2万4千棟以上、流失橋梁32橋となった、昭和10年の大水害が契機となっています(写真-1)。翌年の昭和11年から22年にかけて改修が行われ、京都の景観との調和に配慮をしつつ、治水安全度が飛躍的に向上しました。

その後、京阪電車や琵琶湖疏水の地下化に伴い、当時暫定改修となっていた三条～七条間において、河道拡幅や護岸整備が行われ、平成11年に現在の鴨川の姿になりました。

3. 鴨川の景観

暴れ川であった鴨川ですが、一方では平安時代より都に住む人々の暮らしに密接に関わってきたことが、残された数多くの絵図や書物からうかがわれます。

鴨川の夏の風物詩「納涼床」は、江戸時代に浅瀬や砂州に床机を並べた夕涼みが、時を経て形態を変えながら現代まで続いています。

(写真-2)



写真-3 鴨川の眺望

現在の鴨川は、直線的に護岸が整備され、床止工がほぼ等間隔で配置された河川ですが、護岸には自然石を用い、天端の肩には丸みをもたせるなどの工夫により、鴨川と一体となって北山を望む眺望等は、山紫水明の京都を代表する美しい景観を創出しています。

(写真-3)

河川改修に際しては、風致を維持し、中心市街地の貴重な水辺空間を活かして四季折々の花木や水面を眺めながら散歩できる園路を、「花の回廊」として整備してきました。

また、こうした鴨川の河川環境を安心・安全で良好かつ快適なものとして次の世代に引き継ぐため、京都府では「京都府鴨川条例」を制定し、放置自転車など

快適な利用を妨げる行為や鴨川に面して設置されるエアコン室外機など、周辺の施設・設備による景観阻害、さらには環境面を含めた幅広い課題に対応しています。

これらの取り組みの成果もあり、戦前に景観に配慮し設計され、我が国有数の河川景観と親水空間創出に貢献した貴重な土木遺産であるとして「賀茂川・鴨川河川構造物群」が令和元年に土木学会選奨土木遺産^(※)に認定されました。

(※) 土木学会選奨土木遺産：公益社団法人土木学会が社会へのアピールやまちづくりへの活用などを目的に歴史的土木構造物を認定し、顕彰するもの。

4. おわりに

京都府鴨川条例には、「鴨川の整備と保全は、その歴史と文化的価値を理解した上で、その継承、自然的社会的環境との調和、適正な利用調整、府民協働の推進を旨としておこなう。」との理念がうたわれています。

京都府では、この条例に基づき「鴨川府民会議」を設置して、各方面の委員から多岐に亘る御意見をいただいております。府民の知恵と力を結集して山紫水明の象徴である鴨川を未来に継承すべく、取り組んでいきます。



写真-4 エアコンの室外機の景観対策

(写真-4；鴨川に面して設置されているエアコンの室外機に対し、目隠し等の景観対策をすると施工費等に対して一定の補助を受けられる制度を活用)

奥飛鳥の歴史的風土、景観にふさわしい水辺の創出

～「^{かんなび}^{さと}神奈備の郷・川づくり計画」の取り組み～

奈良県県土マネジメント部河川整備課 豊住健司

1.はじめに

飛鳥川は、奈良県高市郡明日香村と同吉野郡吉野町の境に位置する竜門山地の竜在峠を源とし、明日香村^{かやのもり}栢森、稲渕の谷間を南北に貫流したのち、中和の拠点都市である橿原市の中心市街地を北流しながら、奈良盆地の中央部で大和川に合流する流域面積約44km²、流路延長約22kmの一級河川です。また、日本最古の歌集『万葉集』に23首も詠まれるなど、古代より人々によって親しまれてきた悠久の河川です。

そんな飛鳥川の上流一帯は「奥飛鳥」と呼ばれ、山々に囲まれた狭い土地を有効活用した集落や田畑が広がっており、今もなお日本の原風景というべき農山村風景を目にすることができる地域となっており、平成23年9月には国の重要文化的景観にも選定されています。



万葉集（巻11-2701）

明日香川 明日も渡らむ 石橋の
遠き心は 思ほえぬかも

写真-1 万葉集でも詠まれた飛鳥川の飛び石（明日香村指定文化財）と万葉歌碑

かつての飛鳥川（明日香川）は繰り返される氾濫で橋が流され、そのたびに橋の役目を果たしていたのがこのような飛び石だったとされています



写真-2 明日香村稲渕地区の棚田風景（奈良県景観資産）

河岸段丘や山の緩斜面に広がる美しい棚田は、日本の棚田百選にも選ばれています



写真-3 飛鳥川源流の細谷川の女淵（奈良県景観資産）

642年に女帝・皇極天皇が雨乞いをしたとも言われており、約1.5km上流の男淵とともに竜宮に通じ、竜神が棲むとも言われています。滝の高さは5～6mあり、その深さは6m以上とも言われています

2. 事業の紹介

1) 神奈備の郷・川づくり計画の策定

飛鳥川では、下流より順次河川改修を行っています。特に奥飛鳥地域（神奈備の郷）の改修にあたっては、明日香地域の奥座敷として奥飛鳥の貴重な風土を学び、体験し、実感できるように、豊かな自然環境等と調和しつつ、明日香村や地元等による地域活性化策と連携を図るため、学識経験者や地元住民の方々とともに「神奈備の郷・川づくり計画」を平成14年1月に策定しています（図-1 参照）。



図-1 神奈備の郷・川づくり計画策定の経緯

2) 神奈備の郷・川づくり計画 施設計画

神奈備の郷・川づくりにあたっては、計画の主旨や課題を踏まえつつ、神奈備の郷・川づくり整備検討委員会や古都風致審議会等の審議を経て、平成20年度に河川法に基づく河川整備計画に「神奈備の郷・川づくり計画」を位置付けています。

ここでは、施設計画の概要を紹介します（図-2 参照）。

☆「神奈備の郷・川づくり計画」 整備のポイント

- 遊水効果による下流域の治水安全度向上
- 周辺環境との調和を図る
- 豊かな自然環境を保全、復元する
- 歴史に学び、自然とふれあえる、交流・体験空間の創出を図る
- 奥飛鳥の風土にふさわしい水辺環境の創出を図る
- 水に触れ、川音に浸れるなど、水に感じ親しめる水辺の創出を図る
- 生態系に配慮した河川環境を復元する
- 明日香村地域振興施策と連携した川づくりを行う

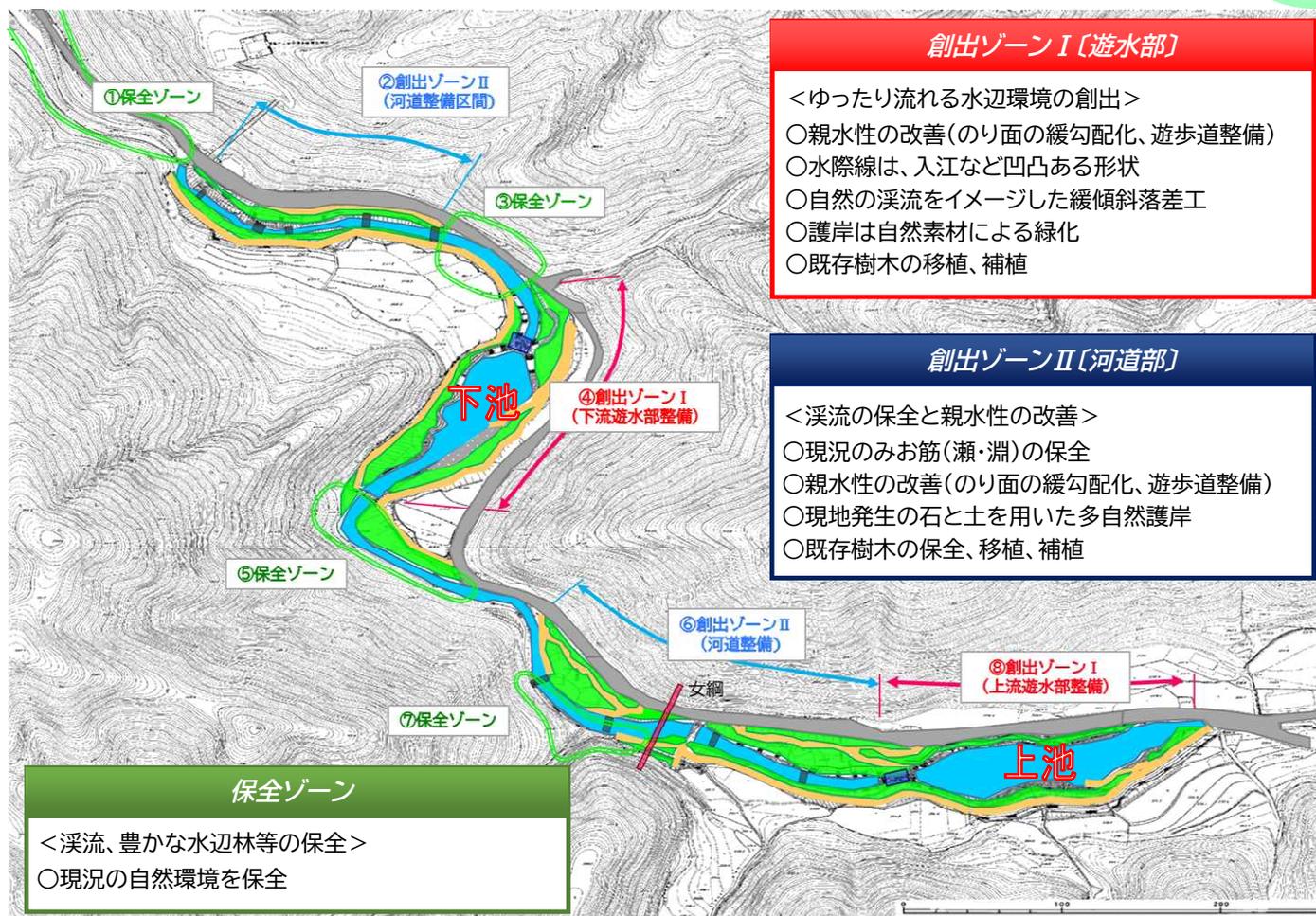


図-2 神奈備の郷・川づくり 施設計画の概要

3) 神奈備の郷・川づくり計画 現在の整備状況

平成 20 年度から整備工事に着手し、平成 23 年度には創出ゾーンⅠ（遊水部）の上池、平成 28 年度には下池の整備が完了しています。現在は、創出ゾーンⅡ（河道部）の石積護岸、橋梁、遊歩道整備及び植栽工事を行っているところです（図-3 参照）。

また、定期的に動植物等の環境モニタリング調査を実施するなど、奥飛鳥にふさわしい水辺の創出に取り組んでいるところです。



整備前



現在の整備状況(令和2年8月撮影)

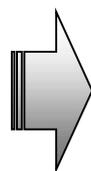


図-3 神奈備の郷・川づくり 整備状況

3. おわりに

今回ご紹介しました奥飛鳥地域は、飛鳥川の源流にあって、古代より「森」と「水」と「歴史文化」ならびに「人」が一体となって地域景観、文化を培ってきた地域です。

また、明日香村は、我が国で初めて律令国家体制が形作られた飛鳥京が形成された地域となっており、歴史的な文化遺産の宝庫となっていますので、是非一度お越し頂けると幸いです。



武庫川の総合的な治水対策シンポジウム

兵庫県県土整備部武庫川総合治水室

武庫川における、これまでの治水への取り組みを振り返り、今後の防災・減災対策を考える「武庫川の総合的な治水対策シンポジウム」を令和2年7月8日(水)に西宮市で開催した。来賓の山田賢司衆議院議員、加田裕之参議院議員は「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の期間延長の必要性を訴えた。ソーシャルディスタンス確保のため参加者は80人に限定したが、ライブ配信を240人が視聴した。



国道2号 武庫大橋を下流から望む

基調講演 気候変動下の総合治水と持続可能社会 法政大教授 兵庫県河川審議会会長 道奥康治

社会の持続可能性は、自然再生、資源循環、低炭素の3要素とレジリエンシー(強靱性+ダメージからの復元能力)とのかけ算で定義され、レジリエンシーを欠く持続可能社会はあり得ない。



道奥康治 教授

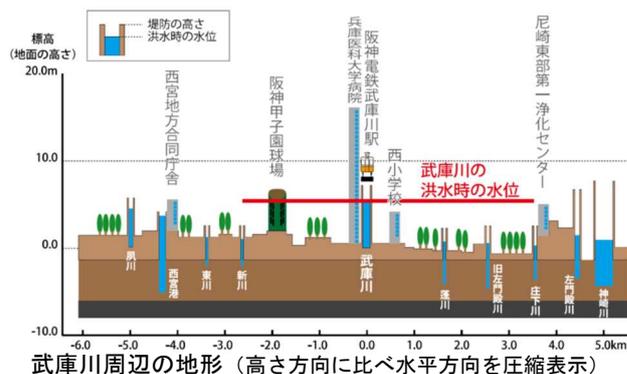
災害リスクは洪水などの危険な自然現象(ハザード)にさらされる脆弱な地域に存在する。日本はハザードにさらされる地域に居住する人口の割合が世界第4位、先進国では第1位だ。

総合治水では「計画規模洪水」と「計画規模を上回る洪水」に対する2段階の対策が講じられる。前者は「防災」に、後者は「減災」に取り組む。

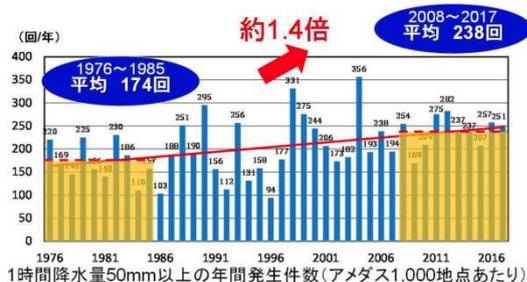
総合治水を支える仕組みとしては、自治体による施設整備や各種支援制度などの「公助」、自治会や地域主体による「共助」、個人の避難行動による「自助」がある。課題としては、公助から共助、自助に至るプロセスにおいて自治会などが情報ハブとなってリスクを把握、共有、浸透させる体制づくりが挙げられる。今後、総合治水をさらに推進するためには河川をより市民にとって身近な存在にする取り組みが必要だ。

報告 武庫川の防災・減災対策の取り組み 兵庫県県土整備部武庫川総合治水室

武庫川の洪水浸水想定区域内人口は108万人、資産は17兆円で、ともに全国第10位、二級河川では第1位の重要な河川。西宮市、尼崎市域では武庫川の洪水時の水位が市街地より4~5メートル高くなり、ひとたび堤防が決壊すると甚大な被害が予想される。住民に武庫川周辺地域の危険性を十分認識していただくことが大事だ。兵庫県は2018~20年度、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用し、それまでの2倍の予算で武庫川の河床掘削、橋梁架け替え、堤防強化、既存ダム治水活用などに取り組んでいる。



武庫川周辺の地形(高さ方向に比べ水平方向を圧縮表示)



武庫川下流部を下流から望む 左岸尼崎市、右岸西宮市

パネルディスカッション

豪雨災害の激甚化・頻発化を踏まえた 武庫川の総合的な治水対策

【パネリスト】

大石 哲 神戸大教授
武庫川水系河川整備計画フォローアップ懇話会座長
馬場美智子 兵庫県立大大学院教授
山本義和 武庫川流域圏ネットワーク代表
服部洋平 兵庫県県土整備部長

【コーディネーター】

道奥康治 法政大教授 兵庫県河川審議会会長

道奥 それぞれの立場から話題提供をお願いします。

大石 フォローアップ懇話会で議論してきたが、兵庫県には整備計画の早期達成が求められる。環境に配慮し、住民の意見を聞きながら、安全・安心の川づくりを進めるべきだ。



大石 哲 教授

馬場 身近なリスクを知ることが必要だ。ハード整備の効果と限界を知ったうえで、限界を超えるリスクに対しては多様な主体のソフト対策による減災の取り組みが必要になる。



馬場美智子 教授

山本 総合治水においては「治水か、環境か」の選択ではなく平時から両方を視野に入れて進めるべきだ。



山本義和 代表

道奥 策定から10年目を迎えた武庫川水系河川整備計画の進捗状況は。

服部 流域全体で総合治水対策を進めているが、目標に対してはまだ道半ばだ。全国各地で激甚な豪雨災害が毎年発生しており、現在の河川整備計画のスピードアップが必要だ。「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が本年度で終わるため、国に期間延長や新たな枠組みづくりを働きかけている。



服部洋平 部長

道奥 「国土強靱化」の予算を活用し、河川整備は順調に進んでいる。防災と減災の役割分担、行政、地域社会、市民の連携も進みつつある。災



パネルディスカッションの様子

害リスクがますます高まる中、それぞれが考える課題は。

大石 河川は下流から整備していかなければならない。流下能力の足りない西宮市、尼崎市域は早急に整備が必要だ。地域の経験や文化を生かして安全・安心な武庫川づくりを。

馬場 リスク低減対策として土地利用誘導などを含めた施策へのシフトも考えなければならない。

山本 市民活動主体の高齢化が進んでいる。学校教育において川に親しみ、川を知ることが重要ではないか。

服部 計画を上回る豪雨があることを前提に、河川管理者として全ての選択肢を排除せず今できる対策を全てやる。本年度は河川対策アクションプログラムを策定し、①河川整備計画の前倒し②既存ダムの有効活用③中上流部の局所対策④計画を上回る超過洪水に備えた堤防強化⑤事前防災としての堆積土砂撤去一を推進する。県民の総意で「ながす」「ためる」「そなえる」の取り組みを進める。

道奥 治水と環境は対立しないという住民と行政の共通理解が必要。そのうえでハード対策による防災には限界があり、ソフト対策と役割分担するべきだ。気候変動のスピードが加速しており総合治水のさらなる加速が必要になっている。超過洪水に備えた堤防強化など、避難時間確保のためのハード対策にも期待する。



住民に川への理解を深めてもらう「武庫川づくり交流会」で生き物観察会の様子



九頭竜湖の紅葉

福井県 九頭竜川

九頭竜湖は、昭和43年に竣工した九頭竜ダム（ロックフィルダム）によってできた人造湖で、その大きさは十和田湖に匹敵するといわれています。そして、瀬戸大橋のプロトタイプとして掛けられた箱ヶ瀬橋（夢のかけはし）は、豪快な山岳風景と広大なダム湖に優雅に溶け込んでいます。豊かな自然に恵まれ、特に秋には色鮮やかな紅葉の美しさが湖面を彩ります。



写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

三県境にまたがるエメラルドグリーンの流れ

どろきょう
瀬峡

く熊野川流域北山川く

(和歌山県・三重県・奈良県)

熊野川流域では美しい溪谷景観が各所に見られ、特に和歌山県・三重県・奈良県の三県の県境を流れる北山川の瀬峡は昭和三年に国の名勝・天然記念物に、また昭和二十三年には特別名勝として指定されております。奇岩と深い淵が生み出す特異な河川景観に絶壁上の原生林が映え、その美しさから流域を代表する観光地となっています。

山頂公園から三方五湖を展望しよう！

三方五湖は三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖の5つからなり、約11kmのレインボーライン（有料道路）からリフト・ケーブルカーで上った先にある山頂公園からは三方五湖を一望できます。絶景天空の足湯やカウンターテラスでゆっくりと絶景をお楽しみ下さい。2020年4月にリニューアルオープンし新たに5つのテラスや屋内建屋が新設。全天候型の山頂公園へ生まれ変わりました。



三方五湖



山頂公園

アクセス

舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICより車で約20分

福井県年縞博物館は、年縞※を展示した世界初の博物館です。館内では水月湖で採取された7万年かけて形成された世界一長い45mの年縞を見学することができますので、是非ともご覧ください。三方五湖を1周できるサイクリングロード（約42km）も整備されておりますので、自分の足で三方五湖を感じることもできます。

※年縞：湖や沼の底にプランクトンや土、花粉、火山灰などが積もってできる「泥の地層」のこと。



福井県年縞博物館の基本情報

休館日：火曜日（月曜日が休日の場合は翌日休館）

開館時間：9:00～17:00（最終入館16:30）

アクセス：舞鶴若狭自動車道三方五湖スマートICより車で約5分

<http://varve-museum.pref.fukui.lg.jp/>

布引の滝（日本三大神滝）

新神戸駅から徒歩 15 分ほどで、日本三大神滝である「布引の滝」を見ることができます。

「布引の滝」は、六甲山の麓を流れる生田川の中流（布引溪流）に位置し、上流から順に、雄滝、夫婦滝、鼓ヶ滝、雌滝の 4 つの滝からなる総称です。

また、その歴史も古く、平安時代の歌集『伊勢物語』や『栄花物語』をはじめ、古くから宮廷貴族たちが和歌に詠むなど多くの紀行文や詩歌で紹介される文学作品の舞台となっています。

また、「市街地から数分のところに自然が残っている箇所として貴重であり、渓谷美がすばらしく、市ヶ原近辺の河原は四季を通じ行楽地としてにぎわっている。子供会、婦人会等から組織される“布引・市ヶ原を美しくする会”が保全活動を積極的に行っている。」として日本名水百選に選定されています。

③夫婦滝



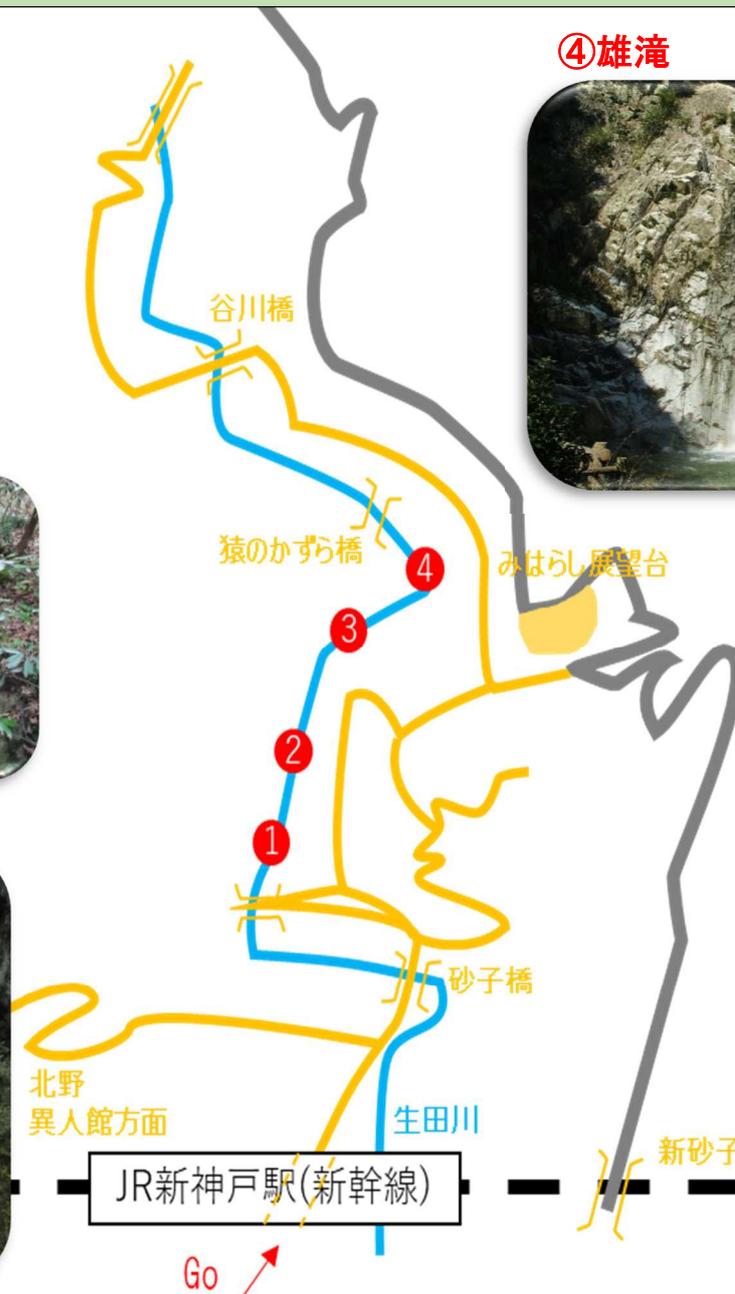
④雄滝



②鼓ヶ滝



①雌滝



岩頭から 5 段に折れて落下しており、落差は 43m と 4 つの滝の中で最も大きな滝です。

新神戸駅から徒歩 15 分

神戸有数の観光スポットである北野異人館からも近いので、マイナスイオンの感じられる「布引の滝」を訪れてみませんか？



“水神”を感じる碧き清流

～丹生川上神社と夢淵、東の滝～



奈良県景観資産より

丹生川上神社(中社)

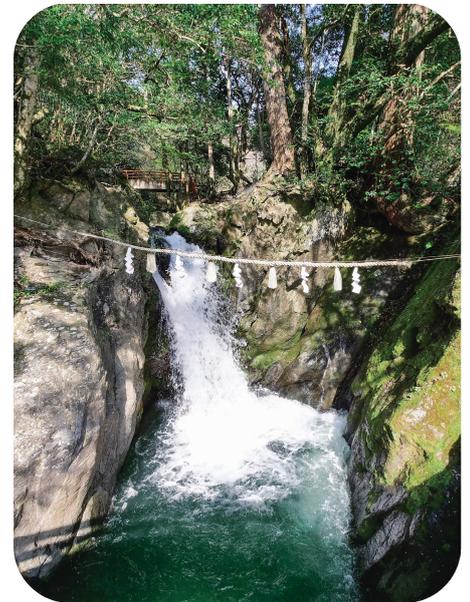
夢淵

東の滝



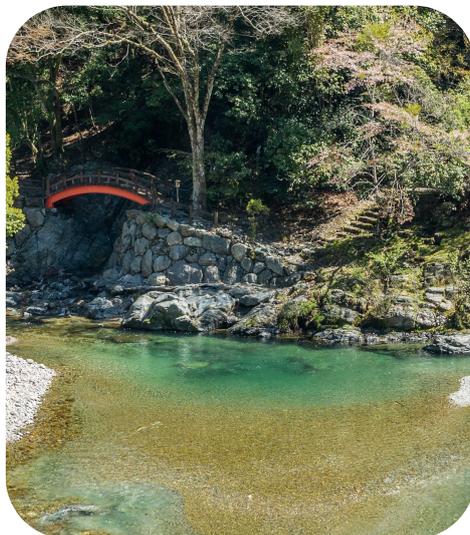
丹生川上神社(中社)から少し上流、「蟻通橋」の側では高見川に二つの川、四郷川・日裏川が合流する紺碧の深い淵があり、『夢淵』と呼ばれています。

この場所は遙か昔、神武天皇が、大和平定のため戦勝祈願をされた所だと伝えられています。



白鳳4年(675年)、天武天皇創建。
御祭神「罔象女神(みづはのめのかみ)」は水一切を司る神様で水利、雨師の神として信仰され、平安時代には、22社の1社に列せられていました。五穀豊穰、特に早(ひでり)続きには降雨を、長雨の時には止雨を祈るなどに水神のご加護を祈ってきました。

社前には碧く美しい清流、高見川が流れており、「奈良県景観資産」にも登録されています。(最上部の写真)



同じく、丹生川上神社(中社)から徒歩約5分の場所に位置する『東の滝』。夢淵に注ぐこの滝は、流水の勢いと水量が豊富で、見応え抜群です。

※新型コロナウイルス感染症に関する最新情報をご確認の上、感染予防対策をお願いします。

大阪府立狭山池博物館 令和2年度特別展

発掘された土木技術—大和川流域の開発と水制—

■日時：令和2年10月10日（土）～令和2年12月6日（日）

■場所：大阪府立狭山池博物館（大阪府大阪狭山市） 特別展示室

入館無料

<概要>

秋の特別展では、「水制（すいせい）」を中心に、大和川流域の開発の歴史を紹介します。

水制とは、治水を目的とする河川構造物のひとつです。約1600年前の古墳時代には出現しており、その後、昭和の中頃まではよくみられた構造物でした。とくに、近世以降の古文書や絵図などに様々な形の水制が描かれており、日本各地の河川には水制が設置され、川の流れを制御していたことがわかります。

大阪平野の開発にあたって治水は重要な課題で、とくに大和川流域では古墳時代から様々な水制が存在しました。本展では水制の歴史をたどりつつ、大和川流域の開発の歴史を紹介します。

- ・交通機関：最寄り駅：南海電鉄高野線「大阪狭山市」駅下車、西へ700m
- ・問い合わせ先：大阪府立狭山池博物館 TEL 072-367-8891
- ・ホームページ：<https://sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>
- ・新型コロナウイルスの影響により、展示期間や関連行事等の変更する場合がございます。本館のホームページまたは電話等にて最新の状況をご確認くださいませようお願いします。



江戸時代

大和川付け替え工事想像図

（八尾市立歴史民俗資料館提供）

古墳時代

八尾市久宝寺遺跡で見つかった水制

（公益財団法人大阪府文化財センター提供）



雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～

■日時：9月4日（金）から10月18日（日） 午前10時から午後5時まで

※開催期間中は毎日開館しています。

■場所：川の駅「はちけんや」地下1階（大阪府大阪市中央区）

<http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/shore/hachikenya.html>

※入場料は無料です。

雨は身近な存在ですが、とても大きな力を持っています。時には猛威を振るい、私たちの暮らしに大きなダメージを与えます。一方、私たちの暮らしに欠かせない水を供給し、日々の生活を支えています。

この企画展「雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～」では、これまで博物館の企画展などでもとりあげられることの少なかった「雨」について、「あらぶる雨」と「めぐみの雨」に注目し、新たな工夫をとり入れた方法で紹介します。みなさんがふだん見ているのとは違った視点から、雨の不思議に迫ります。



★新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて
皆さまにお願いしたいこと

- (1) 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）あける
- (2) マスクの着用
- (3) 消毒液での手指の消毒
- (4) 大声での会話を行わない
- (5) 発熱や咳・咽頭痛などの症状がある場合は入場をお控えください

交通機関：最寄り駅：

京阪天満橋駅 1 1 番出口または
1 7 番出口から徒歩すぐ
OsakaMetro 谷町線天満橋駅 2 番
出口から徒歩5分

問い合わせ先

大阪府都市整備部河川室河川環境課
環境整備グループ
TEL 06-6944-9306

◆ 編集後記 ◆

さらさ1111号の編集を担当いたしました、奈良県河川整備課の山科です。
各府県市のご担当者の皆さまにおかれましては、ご多用中にも関わらず、記事の執筆にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回の特集は、2件とも馴染みのある一級河川で、各々の風土に適した水辺空間が創出されており、歴史の深さを感じながら、興味深く学ばせていただきました。

